

国道186号の整備促進 ～山陽・山陰を結ぶ広域幹線道路～

交通事故の不安を解消し、安全な道路空間を確保する

一般国道186号(愛称:さんさんロード186)は、**山陽・西中国山地・山陰を結ぶ広域幹線道路**であり、本路線が開通により、移動時間が大幅に短縮し、**地域住民の利便の向上**に資するとともに、沿線市町の**産業経済及び文化の発展**に大きく寄与しており、沿線市町にとっては非常に重要な路線です。

しかし、近年の**交通需要の増大**や**車両の大型化**に伴い、未改良部分各所において**諸種の交通障害が発生している状況**であり、関係住民にとりまして、本路線の改良は、**重要かつ緊急の課題**となっています。

主な未改良箇所

穂仁原地区(大竹市)は、歩道がなく狭隘な道路であり、トラックなどの大型車はすれ違うことさえ困難です。

また、**細見地区(北広島町)**も、歩道がなく、歩行者の安全が十分に確保されていない状況です。

災害への対応

災害が発生すると緊急車両の通行が困難になるなど、地域住民の生活に大きな影響を与えます。過去の災害(平成17年9月)では、土砂崩れ等により、一時孤立した地域もあります。

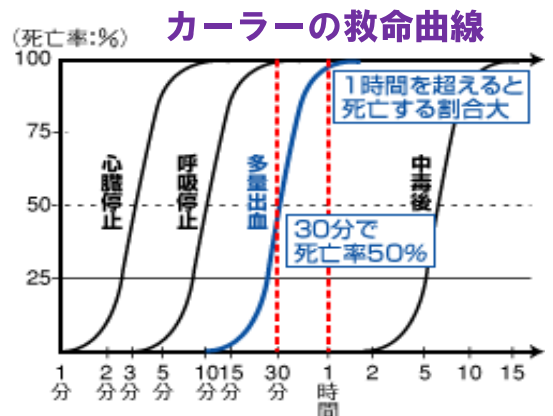
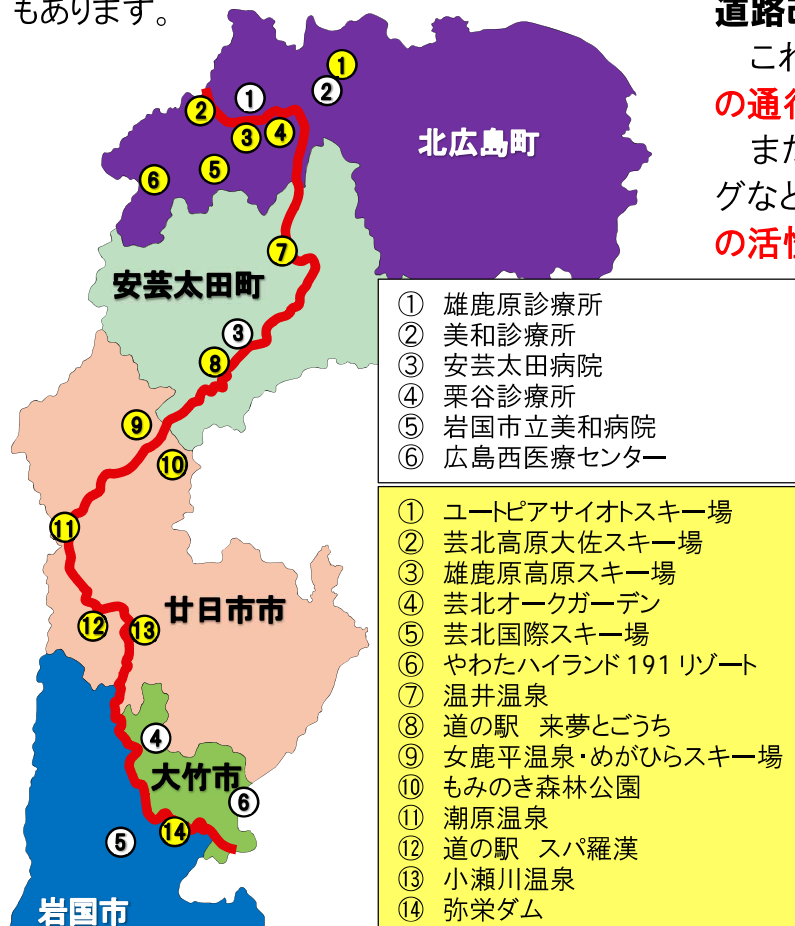


平成26年8月6日撮影

道路改良事業への期待

これまでより**安全かつ速やかな緊急車両の通行**が可能となります。

また、スキー、温泉、ドライブ、サイクリングなどのレジャーでの利用も多く、**地域経済の活性化**が期待されます。



これまでの道路改良により、**移動時間が30分以上短縮**されており、救急患者の搬送での**救命率は大きく改善**されています。事業実施により、さらなる改善が期待できます。